

## 主の兄弟であるキリスト者

---

香山剛 神父

冬の厳冬期の毎夜、姫路の夜空とりわけ姫路教会周辺から見える星々の姿に見とれることがよくありました。北の方向に北斗七星が見えないかと眺めても姫路城がライトアップされているせいかよく分かりませんでした。光の少ない砂漠や高山であれば夜空は満天の星や銀河で埋め尽くされている事でしょう。

私たちの住む地球は、太陽系に属する一惑星であり、太陽は天の川銀河系に多数ある輝く一恒星に過ぎず、天の川銀河は観測されている無数の銀河集団の中の一つでしかないのです。これらの銀河が存在する空間は宇宙と呼ばれ、銀河が互いに遠ざかっていることから宇宙は膨張していると考えられています。そこで、宇宙の始まりを理解しようとするときこの宇宙の膨張を逆回転することで説明できると言うのです。ある物理学者は、テレビの映像の中でビッグバン [大爆発] という宇宙の始まりをイメージできるようにタイのお寺で行われていた送り火の行事に参加していました。布の真ん中には燈明の芯がのった皿があり、芯に火をつけると熱気球のようになって真っ暗な大空に明かりの球が拡散してゆくのです。映像を逆転すると遠ざかる明かりが最初の出発点に戻る事が分かります。

説明が長くなりましたが、私たちキリスト者は宇宙には始まりがありそれは神によってもたらされたと信じています。物理学者によればその始まり以来宇宙の年齢は 138 億年だと言われています。そして地球の年齢は 45 億年です。地球上に原始生命体が出現したのは何億年前でしょうか。1 億年前は巨大恐竜全盛期でしたが恐竜絶滅後、哺乳類も生き延び、70 万年前ぐらいに人間と類人猿が分化し、最後に人類として生き残ったのはホモ・サピエンスの子孫である現代人なのです。1 万年前の人類の人骨が発見された場所に花が添えられてあったということですら驚きのようにみられる程度の人類の進化だったのです。

さて、私たちの信じる主イエスは 2 千年前に当時のローマ帝国の属領ユダヤ、今のイスラエルの地に来られました。「来られました」という言葉は宇宙が出来て 138 億年、地球が出来て 45 億年という現世人類にとって想像もできない程の長さを経て神様の計画が実現されたということですから神様の忍耐強さには何と言えましょうか。宇宙の歴史、地球上の生命体の進化の過程でほとんど場所をめないこの人類に何故ここまで愛を注がれるのでしょうか。

「私の兄弟たちの所へ行って、こう言いなさい。『私の父であり、あなた方の父である方、また、私の神であり、あなたがたの神である方の所へ私は上ると。』」（ヨハネ 20, 17)

宇宙の創造から想像を超える時間の長さを経ても私たち人類に出会うことを望まれた神、その神の子は人となって十字架の苦しみを担っても人類に復活の命を与えるために来られた神であり、父への道。つまり、神の愛とは人類を主イエスの兄弟に変容させる力ま

たは働きと言えるのではないのでしょうか。